

## 太神楽（だいかぐら）とは？

獅子舞で厄を祓い、縁起の良い曲芸で福を招く伝統芸能です。

## 現在の太神楽のジャンルは何？

もともと神様への奉納、氏子への祈禱などが主の「神事芸能」です。

江戸～昭和の時代には「寄席芸能」「舞台芸能」「色物」「大衆芸能」と呼ばれました。

現在は、いろいろな形式で芸を見せる機会が増えましたので、

寄席では「色物」、大道芸フェスティバルでは「大道芸人」、更には海老一染之助・染太郎さんをご存じの方は「おめでとうございます！の人」とも呼ばれます。

## 日本三大太神楽

伊勢大神楽、江戸太神楽、水戸大神楽

## 二重丸◎は？

江戸太神楽 第十三代家元・鏡味小仙に師事。



## 太神楽はいつ頃から？

四～五百年前の飢饉・悪疫を祓うために、伊勢神宮・熱田神宮の神官たちが獅子を舞い、全国を廻ったということです。

伊勢大神楽に関しては、それよりずいぶん前からという資料も残っているそうです。

## その他「神楽」トリビア

19世紀後半以降、多くの太神楽曲芸師たちが海を渡り欧米のジャグラーたちに影響を与えたと聞いています。日本の芸が今の世界のパフォーマンスの礎になっているとは非常に嬉しい事です。

ヨーロッパに残る太神楽関係の資料をもとに十五年程前フランスからも太神楽を学びに来た人もいました。

## ジャグリングとの違いは？

「技（わざ）」を披露するだけではなく、口上<しゃべり>も芸のうち。掛け合いで芸の味付けをしています。

曲芸全てに「由緒」「縁起」のいわれがあるのです。